

# TeX 改造

i13302

令和 2 年 2 月 7 日

## 1 はじめに

TeX はスタンフォード大学教授 (数学)D.E.Knuth(1938~) による文書整形システムです [1]. Docker にすることで, 柔軟にキメラな TeX 環境を作成できます.

aboutsty ディレクトリに sty ファイルを配置すると, Docker build 時に読み込みます.

## 2 コンパイル

同梱の mptex2pdf スクリプトにより, 3 回通るようにしています. 引数を 2 つ指定すると, bibtex 対応でコンパイルします.

## 3 URL 表示

url パッケージを導入しています. <https://google.com>.

## 4 ソースコード表示

指導教員にお願いして, 行番号に枠を入れました.

ソースコード 1: FORMURA の定義

```
1 | #define FORMULA 0 // 途中経過を  
  | 表示
```

ソースコード 2: カラツバ法を実行 bignum\_kara()

```
1 | Bool bignum_kara(BigNum *b)  
2 | {  
3 |     llint s = 1;  
4 |     if ((b->nsz) << 1) > NMN){  
5 |         return FALSE;  
6 |     } // 桁溢れ  
7 |  
8 |     while(s < b->nsz) { s = s  
9 |         <<1; }  
10 |    return bignum_sq2(b, s);  
   | }
```

## 5 令和対応

TeX Live が Ver 2017 なので, BXwareki パッケージ [2] にて, 対応しています.

1. “\today” → 平成 32 年 2 月 7 日
2. “\warekitoday” → 令和 2 年 2 月 7 日

## 6 参考文献/関連図書

bibtex にて, “junsrt.bst” ファイルを改修しています.

1. “@misc” 表示の際に, url 前に改行
2. 日付は年のみ表示
3. “@bachelorthesis” にて, 学士論文に対応
4. “Master’s thesis” → “修士論文”

### 6.1 eps ファイル

昔懐かしの eps ファイルにも対応しています (図 1).

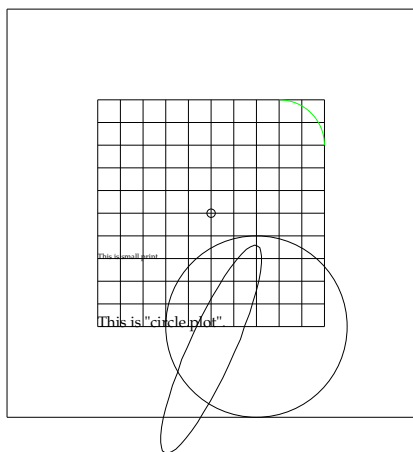


図 1: epsSample[3]

## 参考文献

- [1] “TeX 入門”.  
<https://www.juen.ac.jp/math/nakagawa/texguide.html>. (Accessed on 2020/02/06).
- [2] “CTAN: Package bxwareki”.  
<https://ctan.org/pkg/bxwareki>. (Accessed on 2020/02/06).
- [3] “EPS Files”.  
<https://people.sc.fsu.edu/~jburkardt/data/eps/eps.html>. (Accessed on 2020/02/07).